



アーキテクチャ図

Oracle データワークロードの AWS クラウド への移行



Oracle データワークロードの AWS クラウドへの移行: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Oracle から AWS への移行 i

Oracle データワークロードの AWS クラウドへの移行 1

詳細情報 2

図の履歴 2

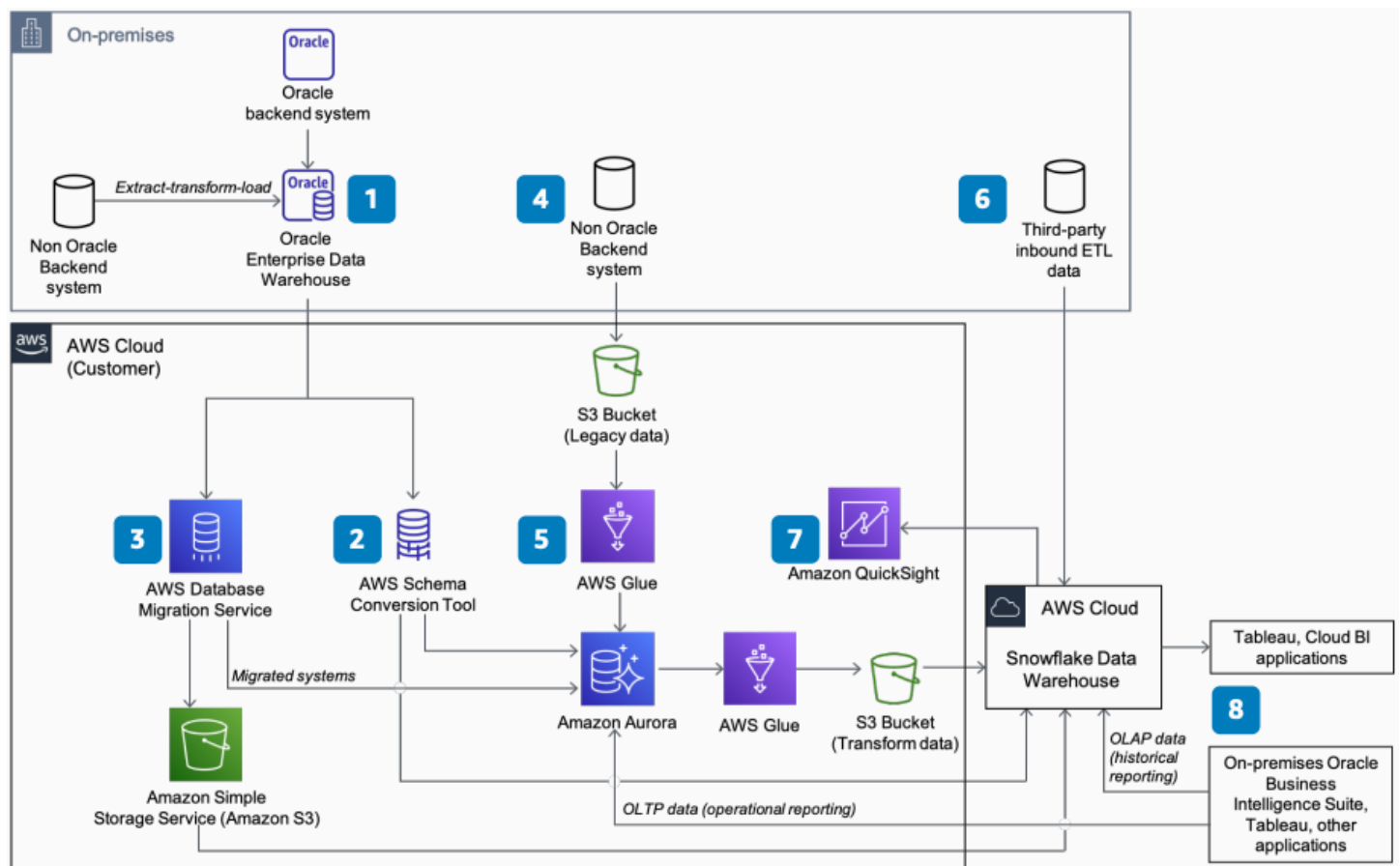
..... iv

Oracle データワークロードの AWS クラウドへの移行

公開日: 2020 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャでは、Oracle ワークロードと Oracle 以外のワークロードをオンプレミスから移行できます AWS。運用レポートのために、オンライントランザクション処理 (OLTP) データを [Amazon Aurora](#) に移行します。履歴レポート用にオンライン分析処理 (OLAP) データを Snowflake データウェアハウスに移行します。

Oracle データワークロードの AWS クラウドへの移行



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. Oracle および Oracle 以外のバックエンドシステムは、トランザクションデータを Oracle Enterprise Data Warehouse に定期的にロードします。

2. [AWS Schema Conversion Tool](#) は、すべての Oracle データベーステーブルから Oracle データ定義言語 (DDL) スクリプトとスキーマを抽出します。DDL スクリプトを Amazon Aurora に発行し、スキーマを Snowflake データウェアハウスに送信します。
3. [AWS Database Migration Service](#) (AWS DMS) は、すべての Oracle テーブルから OLAP および OLTP データを抽出します。は、OLAP データを CSV 形式で [Amazon S3](#) に AWS DMS 保存します。は、OLTP データを Amazon Aurora で作成されたテーブルに直接 AWS DMS ロードします。
4. レガシーシステムは Amazon S3 バケットにデータをロードします。は Amazon S3 バケットからデータを [AWS Glue](#) 変換し、Amazon Aurora にロードします。
5. AWS Glue は Amazon Aurora からデータを変換し、変換されたデータを Amazon S3 バケットに保存します。Snowflake データウェアハウスは、変換されたデータを Amazon S3 バケットから OLAP テーブルにロードします。
6. クラウドベースの extract-transform-load (ETL) プラットフォームは、移行されていないデータウェアハウスシステムからデータを抽出します。これらのプラットフォームは、データを Snowflake データウェアハウスにロードします。
7. [Amazon Quick Sight](#) は、分析とレポート用のデータを受け取ります。Tableau およびクラウドビジネスインテリジェンス (BI) ツールもデータを受け取ります。
8. クラウドベースのオンプレミス BI ツールでは、 から直接 OLAP データをクエリ Snowflake して履歴レポートを作成できます。これらのツールは、運用レポートのために Amazon Aurora から直接 OLTP データをクエリすることもできます。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2020 年 1 月 1 日

RSS サブスクリプション

RSS の更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインを有効にする必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。